

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.10
H27.9.18

運動会の練習・準備をがんばっています！

・・・天気と時計（時間）とにらめっこ・・・

学校は今、運動会の練習の最終段階と言いたところなのですが、台風が来たり雨が続きたりと、さらに5連休もありますので、いくらかは想定していたのですが、時間的に厳しさを感じているところです。

限られた条件の中で、精いっぱい練習・準備をしよう子どもたちの意識を高め、1時間1時間を大切に使うて進めています。



9月10日、初めての全校練習をしました

「全力で戦え!! 突き進め!! 勝利への道!!」

今年の運動会のスローガンは代表委員会が各クラスから出された考えをもとにして決めたものです。昨年度は赤組・白組とも「1006点」の同点でした。得点発表の時の大きな驚きの声を今もよく覚えています。子どもたちはこのことも意識してスローガンを考えたようです。

各学級で「勝利をつかみとるために自分ができること」「なかまとできること」や「全力を出してやり切ること」など、自分なりに何をどうがんばるのかを決めて取り組んでほしいと思います。対抗戦なので勝敗はあります。しかし、何となく勝った、負けた



勝つのは赤！赤組応援団の練習



優勝は白組だ！白組応援団の練習

では、せっかくの子どもが成長する機会がもったいないと思います。「目標を立て、それに向かって自らがどうするか。」それがあってこそ学ぶことの大きさ、次への成長の糧の大きさが違います。

行事は子どもたちが成長する場であり、学ぶ機会であることを改めて確認して運動会に向かいたいと思います。



係の打合せ みんなでいい運動会にしよう！



練習がんばっています！



26日の運動会での子どもたちの精いっぱいのがんばりに、温かい応援をお願いします。

中学校の体育祭に参加しました(6年生)

今年度は橋北中学校の体育祭で6年生が中学2年生と「台風の目」をしました。6年生2人、中学2年生2人の組で一本の棒をもって走る・回るといった競技です。中学2年生は、6年生にとっては「小学校の時は一緒に過ごした子どもたち」であるのですが、随分とお兄さん・お姉さんらしくなったためか、最初は緊張ぎみでした。しかし、さすが中学生！6年の子どもたちをうまくリードして、段々盛り上げてくれました。ほほえましく楽しそうな雰囲気が見ている私たちにも伝わってきました。

このように、子どもたち同士が関わることで、中学校への期待感が膨らむとともに、進学に際して安心感が高まればと思います。

6年生は中学校で10月に一日体験、12月に人権フォーラムなどもする予定です。

※ 就学前の幼稚園・保育園、小学校、中学校が連携して校区が一体となって子どもたちを育てていこうという取り組みである「学びの一体化」を本校区でも数年来進めてきています。就学前の保育園児(年長)・幼稚園

児も体育祭で中学3年生と一緒に踊ったり、ボール運びをしました。



米づくりもいよいよ終盤。。稲刈り体験(5年生)

5年生は5月からバケツで育ててきた稲と、浜一色町にある地域の山本さんの田んぼの一面をお借りして育ててきた稲の刈り取りをしました。

まずはバケツ稲の刈り取りを9月4日に行いました。始めに鎌の使い方を山本さん、野津さんから教わりました。何ととっても初めての鎌を使つての稲刈り体験です。子どもたちには、収穫への期待感と鎌を使う怖さからか不安感が入り混じっている様子がうかがえました。

いよいよ刈り取り、株を手に持ってグッと鎌を引くのですが、なかなか「ザクッ」という感じでは刈り取ることができません。多くの子どもはのこぎりのように「ギコギコ」といった感じで刈り取っていました。(ノコギリ鎌なので、すべらずに切れますが・・・)全員無事に刈り取ることができました。

7日の田んぼでの刈り取りでは、4日の経験が生きました。何株も刈り取る中で「ザクッ」とまではいかなくとも、それに近い感じで刈り取る様子が見られるようになりました。この感覚は、やってみなければわかりません。バケツ稲の様子と田んぼの稲の样子の違いに気づいた子どももいたようです。

刈り取った稲のもみを山本さんに乾燥していただいて、いよいよ白米にして味わってみることになります。自分たちで育てて収穫したお米、きっと格別に感じるのではないのでしょうか。



↑ バケツの稲を鎌で刈り取りました。なかなかきれなくて苦労しました

↓ 田んぼで稲刈り。バケツで刈った時よりかなり慣れた手つきになりました



↑ コンバインを使って脱穀(穂からもみをとる)していただきました

